

キャタピラー

適用範囲		モデル名		D3K2-E			D4K2-E	
		仕様		XL	LGP	SSLGP	XL	LGP
		適用号機		KF200001～	KL200001～	JPJ00001～	KM200001～	KR200001～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
デ イ ゼ ル エ ン ジ ン	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドルリング	rpm	2200	2200	2200	2200	2200
		ローアイドルリング	rpm	950	950	950	950	950
		トルコンストール状態	rpm	—	—	—	—	—
		(冷却水温)	(℃)	(70～80)	(70～80)	(70～80)	(70～80)	(70～80)
		(作動油温)	(℃)	(80～90)	(80～90)	(80～90)	(80～90)	(80～90)
	エンジン油圧		kgf/cm ²	2.9～	2.9～	2.9～	2.9～	2.9～
		(油温)	KPa	280～	280～	280～	280～	280～
	弁隙間							
		(吸気弁隙間)	mm	0	0	0	0	0
燃 料 装 置	燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	kg/cm ² KPa	設定なし (コモンレール)	設定なし (コモンレール)	設定なし (コモンレール)	設定なし (コモンレール)	設定なし (コモンレール)
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り測定位置・条件 (kg と N の両方で表記)	mm kg N	設定なし (自動張り調整)	設定なし (自動張り調整)	設定なし (自動張り調整)	設定なし (自動張り調整)	設定なし (自動張り調整)
動 力 伝 達 装 置	クラッチ又はインチングペダル	ペダル取り付け高さ	cm					
		ペダルの遊びのストローク	cm					
		ペダルの全ストローク	cm					
	走行クラッチ・トランスミッション油圧	主クラッチ型	kg/cm ² KPa					
		流体継ぎ手型	kg/cm ² KPa					
		ミッション潤滑油圧	kg/cm ² KPa					
		クラッチ油圧	kg/cm ² KPa					
	プロペラシャフト	(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (rpm)					
		ボルト締付けトルク	kgm N・m					
ステアリング装置	レバ	レバー遊びのストローク	cm					
		レバーの全ストローク	cm					
ステアリング装置	ステアリングクラッチ油圧又はステアリングクラッチダ油圧	(油温)	kg/cm ² KPa					
		(回転速度)	(℃) (rpm)					

D5K2-E								
XL	LGP							
KW200001～	RRE00001～							
検査基準値								
2200 950 — (70～80) (80～90)	2200 950 — (70～80) (80～90)							
2.9～ 280～ (60～70) (2200)	2.9～ 280～ (60～70) (2200)							
0 0 [冷時]	0 0 [冷時]							
3.6 350 (—) 250	3.6 350 (—) 250							
設定なし (コモンレール)	設定なし (コモンレール)							
設定なし (自動張り調整)	設定なし (自動張り調整)							

キャタピラー

適用範囲		モデル名		D3K2-E			D4K2-E	
		仕様		XL	LGP	SSLGP	XL	LGP
		適用号機		KF200001～	KL200001～	JPJ00001～	KM200001～	KR200001～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	張り (たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	—	—	—	—	—
	鉄シユール	張り (たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	図 2 参照	図 2 参照	図 2 参照	図 2 参照	図 2 参照
		リンクピッチの伸び 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	—	—	—	—	—
		履板取付けボルト 締付けトルク 測定方法・条件	kg・m N・m	9.2±2.0 kgm で 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgm で 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgm で 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgm で 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgm で 120±5° 増し締め
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 測定方法・条件	床面勾配 1/5 以上					
作業装置	シリンダー自然伸縮	ブ ル ・ ドーザー	ブレードリフトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	17mm/5 分 地面から 254mm	17mm/5 分 地面から 254mm	17mm/5 分 地面から 254mm	17mm/5 分 地面から 254mm
			ブレードチルトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	33mm/5 分 チルト左一杯	33mm/5 分 チルト左一杯	33mm/5 分 チルト左一杯	33mm/5 分 チルト左一杯
			リッパースhiftシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	6mm/5 分 地面から 254mm	6mm/5 分 地面から 254mm	6mm/5 分 地面から 254mm	6mm/5 分 地面から 254mm
			リッパースhankシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—mm/分	—mm/分	—mm/分	—mm/分
	ドーザー・ ショベル	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示) バケットシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分					
			mm/分	—	—	—	—	—
	作業速度	ブ ル ・ ドーザー	ブレード上げ (又は下げ) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	2.2±0.3 秒 地面～最大	2.2±0.3 秒 地面～最大	2.2±0.3 秒 地面～最大	2.2±0.3 秒 地面～最大
			リッパースhift (又は下げ) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	1.3±0.2 秒 地面～最大	1.3±0.2 秒 地面～最大	1.3±0.2 秒 地面～最大	1.3±0.2 秒 地面～最大
		ドーザー・ ショベル	リフトアームシリンダー上げ (又は下げ) 作業装置姿勢 (図面番号表示) バケットチルトバック (又はガンピング) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒				
			秒					
	油圧装置	(作動油温)		(℃)				
		主回路設定圧力		kg/cm ² MPa (℃)	210±9 20.6±0.9 (38～65)	210±9 20.6±0.9 (38～65)	210±9 20.6±0.9 (38～65)	210±9 20.6±0.9 (38～65)

D5K2-E								
XL	LGP							
KW200001～	RRE00001～							
検査基準値								
—	—							
図 2 参照	図 2 参照							
—	—							
9.2±2.0 kgm で 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgm で 120±5° 増し締め							
—	—							
17mm/5 分 地面から 254mm 33mm/5 分 チルト左一杯	17mm/5 分 地面から 254mm 33mm/5 分 チルト左一杯							
6mm/5 分 地面から 254mm —mm/分	6mm/5 分 地面から 254mm —mm/分							
—	—							
2.2±0.3 秒 地面～最大	2.2±0.3 秒 地面～最大							
1.3±0.2 秒 地面～最大	1.3±0.2 秒 地面～最大							
210±9 20.6±0.9 (38～65)	210±9 20.6±0.9 (38～65)							

キャタピラー

項 目	測 定 方 法
	図 2. D3K, D4K, D5K, D3K2, D4K2, D5K2 履帯調整方法 1. 車両をその全長の 2 倍の距離動かし、ブレーキを使用せず^aに惰力走行で停止させる。 2. バルブ・カバーを取外す。(図は開けた状態) 3. トラックを張る場合、手動グリース・ガンでトラック調整バルブ (1) からマルチパーパス・グリース (MPGM) を充填する。 トラックを緩める場合、リリース・バルブ (2) を反時計方向に回す。 次に、トラック調整バルブ (1) を 1 回転させて開けて、グリースを逃がす。 その後、リリース・バルブ (2) を閉めてください。 5. バルブ・カバーを閉じる。 6. 反対側の履帯に同様の作業を行う。 